

ぞうしがや三角ひろば

ぞうしがや三角ひろばとは、工事中の環5の1沿道にできた小さな広場です。地下鉄雑司が谷駅の出口から北に20mほど歩いたところにあります。この広場は、環5の1整備のための土地買収で残された土地でした。他に使いようもなく、自動販売機が2台置かれ、地主さんの目が届きにくいので、ゴミが放置され、雑草が茂っていました。

近所の方から何とかならないかと相談を受けたのが、高田小跡地公園計画検討会の有志が地域のまちづくりにも取り組むために設立したNPO法人雑司が谷ひろばくらぶ(<http://zoshigaya.club>)です。

地主さんと話し合い、敷地の管理の委託を受けて広場の清掃を行い、ベンチを設置しました。さらにひろばくらぶでは、広場に面した塀を白く塗装しました。そこに地元の壁マン画家のつむりきねかさんがボランティアでイラストを描いてくださいました。つむりさんは地下鉄雑司が谷駅出口の漱石のイラストを描いた方です。広場には手づくりの掲示板も設置されました。通りがかったらご覧ください。



整備前の様子 (写真: 松浦和代)



暗い壁を白く塗装しました



ベンチを設置し、壁画も完成しました

連載 雑司が谷の風景「2丁目の八百屋」



小池俊夫画 「2丁目の八百屋 (恩田家)」パステル一部コラージュ 450×525mm

つい最近まで雑司が谷らしい古い木造建物が弦巻通りにありました。大きな看板が立派でした。

前の公園でお年寄りが、猫ちゃんとのんびり日向ぼっこをしていらっしゃいます。公園には今はないすべり台。フェンスはそのままのようです。

このお家も、今はもうすぐ保育園に変わる工事の真っ最中……。

雑司が谷の古いお家がなくなるのは、さみしいですが、公園はきれいなお手洗のある公園になり、近所の皆さんが花を植えられ、子ども達が楽しく遊んでいます。(小池睦子)

まちづくりニュース
2019・3
通算85号

ぞうしがや

<http://zoshigaya.org>

●企画/発行
雑司が谷・南池袋
まちづくりの会

●事務局・連絡先
豊島区地域まちづくり課
事業第1グループ
03-3981-0489

まちづくりの会 堀切地区を見学

まちづくりの会では、平成30年10月27日(土)に葛飾区堀切地区のまちづくり見学会を行いました。当地区は、初夏には観光客で賑わう堀切菖蒲園がある一方、地震に関する地域危険度では総合危険度5という木造密集市街地です。現在、防災型の地区計画(建替ルール等)と市街地整備事業(道路や公園整備)が展開中です。平成16年に、区が住民に呼びかけてまちづくりが始まりました。

住民の方々は、「堀切地区まちづくり構想」の作成提案だけでなく、マスコット「ほりきりん」による賑わいづくり、駅周辺などの魅力づくりに取り組んでいます。行政による防災まちづくりに並行して、地元では、外来者よりも住民が歩いて楽しいまちづく

りを目指しているというお話がありました。

当日は15名が訪問、堀切の方々8名に案内いただきました。整備された「ほりきりん公園」、水路敷を活用した地区道路や緑道、堀切菖蒲園、七福神像など見学しました。

参加者から、地域の方がまちづくりを説明できることが素晴らしい。地域の子も達や高齢者にも幅広くPRできている。水路や道路際に地域が育てている緑が出ていて、大きな道と狭い路地、様々な年代の建物、楽しく歩けるまちであるなどの感想が出されました。

歴史ある行楽地で観光客もくる一方、木造密集の課題もあるという雑司が谷と共通の特性があり、今後に役立つ見学会になりました。



整備された公園



整備された緑道



緑道での縁台将棋



見やすい案内看板

まちづくりの会 会員募集中

雑司が谷・南池袋まちづくりの会では、一緒にまちづくりに取り組む方を募集しています。雑司が谷・南池袋地区に在住・在勤の方ならどなたでも参加することができます。本会への参加を希望される方は事務局までご連絡ください。

まちづくり用地

地域まちづくり課では、まちづくり用地を募集しています。敷地は小公園やまちづくりにご協力いただける方の代替地として利用させていただきます。区に売却していただける場合は、税制の優遇措置などがあります。詳しくは事務局にご相談ください。

残り時間わずか 不燃化特区助成

雑司が谷・南池袋地区の不燃化の促進をするために地区内で燃えない建物に建替える方に不燃化特区助成を行っています。これは、2021年3月までの期間限定事業となります。

この助成を受けるためには、建物の工事が完成し登記まで行われなくてはなりません。したがって、2020年12月くらいには工事が完成している必要があります。時間があるようでももう残すところあとわずかになってきました。設計や工事には時間がかかります。助成金を利用して建替えを計画されている方は、お早めに区へご相談ください。

お問い合わせ: 都市整備部地域まちづくり課 電話03-3981-0489

ブロック塀などの撤去に特別助成

豊島区では、危険なブロック塀などの撤去を希望される方に、改善工事費用の一部を助成しています。対象となるのは道路または地表から高さ1.2mを超えるものです。ブロック塀などの撤去と新たな塀などの設置にかかる経費の一部を助成します。詳しくは区にご相談ください。

お問い合わせ: 都市整備部建築課
電話03-3981-0590

高田小学校跡地は「雑司が谷公園」に



公園全体のイメージ

公園の名称決定

高田小学校跡地公園計画検討会(以下検討会)では、公園の名前を検討し、「雑司が谷公園」とすることにしました。もともと雑司が谷公園とは高田小学校に隣接する既存公園の名前ですが、雑司が谷を代表する公園となるこの公園には「雑司が谷」という名前がふさわしいと考えました。また、既存の雑司が谷公園の拡張ということもあり名前を踏襲することにしました。

敷地の高低差を活かした計画

上図は公園の計画図です。体育館があった所に公園施設が建ち、その南側にボールひろばとほらっぱひろがりです。子供たちが楽しめる水遊びひろばや高齢者も体操ができるフィットネスひろば、多目的な利用を想定しているひろばが整備されます。南側の元の児童遊園は、再整備をしてこどもの遊び場となります。

公園の敷地の北側には2mほどの段差があります。その段差を利用して、地下1階は鉄筋コンクリート造、1階は木造となります。

敷地全体に、校舎の解体で発生したコンクリートガラを1mほど盛り、ゆるやかな斜面に植栽を行います。

公園施設は「まちの縁側」

公園施設の南側には大きな庇ができます。ここも含めてこの施設は地域の方々が気軽に立ち寄り、時間を過ごすことができる「まちの縁側」となることが意図されています。

広いエントランスホールは、小さな会合や展示、おしゃべりなどに利用することができます。また、旧高田小の職員室と同じ広さの休養施設は、2つに分けて使うことができます。



公園施設の南側外観のイメージ



休養施設のイメージ

エントランスホールのイメージ

すすむ工事

現場では、1月から本格的に建築工事が始まりました。春までは地下1階の鉄筋コンクリート部分の工事が行われます。打設の時にはたくさんのミキサー車が敷地に入出し、地域の皆様にはご迷惑をお掛けすると思います。引き続きご理解とご協力をいただければ幸いです。

公園工事は夏に着工します。2020年3月末にはすべて完成する予定です。

2019年	2020年
建築工事	
	公園工事

お問い合わせ
 豊島区都市整備部公園緑地課
 電話 03-3981-4940

維持管理の検討

公園と施設のオープンに向けて

これまで検討会では、公園や施設についての計画づくりを話し合ってきました。あと一年後にはいよいよ完成です。この公園や施設は豊島区が設置するものですが、一方、これまでの地域のみなさんの想いが集まって実現したものです。

地元の意見や要望を反映しやすく、また、だれでも気軽に利用できるようにするには、どのような維持管理や運営がよいかなど、新しい公園・施設運営が新年度の検討会のテーマになります。

新しい公園・施設の運営を考えよう

検討会は、6年前、区からのよびかけによって、近隣の地域組織や周辺の方、応募された方で設立され、公園と施設の計画づくりを話し合い、豊島区に提案してきました。公園や施設ができあがった後は、ここをどう活用したら雑司が谷の地域づくりに役立つか、みなさんに喜んでもらえるかなど、この場所の運営が大きな課題になってきます。

この点について、雑司が谷のもっと幅広い皆さんがいっしょに取り組んでいくことが重要と考えています。検討会では、公園開設とともに本会の役割を解消

雑司ヶ谷の道の未来を考えよう

まちづくり協議会では、これまで「雑司が谷らしさ」や「みちづくり」について、日本女子大の薬袋研究室と一緒に検討を行ってきました。そこで得られた成果も活かしながら、雑司が谷未来遺産推進協議会と日本女子大薬袋研究室では、雑司が谷の道の未来をテーマに連続ワークショップとシンポジウムを開催しました。

ワークショップは、「雑司ヶ谷の道の未来を考える」と題して、11月8日と27日に開催されました。参加者が3つのグループにわかれ、雑司が谷の道の現状と将来について自由に話し合いました。

それを受けて、1月22日には「風情ある雑司ヶ谷における観光と生活の接点を考える」と題してシンポジウムが開催されました。

雑司が谷の道は細い道が多く、曲がりくねり、行き止まりも多いのが特徴です。これは災害時には危険でもあります。雑司が谷らしい風情ある街並みを形成する重要な要素ともなっています。一方、最近雑司が谷は来街者が多くなりました。その結果、観光地という顔も持つようになってきました。薬袋研究室からの提案は、来街者に歩いてもらう道と地元の方が生活に利用する道を区別し、うまく折り合いをつけるようにしたらどうかというものです。この提案に対しては、賛同する声もあった一方、地元の方からは来街者には入ってほしくないという意見が寄せられました。

雑司が谷の道の未来をどうするのか。議論は始まったばかりです。



ワークショップの様子



シンポジウムの様子

施設の名称募集

し、改めて会を発展させ、公園や施設運営に取り組む場をつくろう、という意見が出ています。その折にはこのニュースで呼びかけますのでご参加ください。

①公園建物の名称をつけてください

雑司が谷公園につくられる施設(建物)の「名称」を募集します。子供からお年寄りまで親しんでいただける、このまちにふさわしい、わかりやすく楽しく名称案をお寄せください。

②公園でどんなことがしたい?

検討会では、雑司が谷公園が地元の皆さんのさまざまな活動の場になってほしいと願っています。みなさんはこの公園で何かやりたいことがありますか。また、こんなことをやってもらいたいと思うことがありますか。地元の皆さんのアイデアやご希望をお知らせください。

●お申し込みは公園緑地課へ(締め切り:4月末日)

※①施設の名称案、②アイデアや希望については、検討会にて検討し選定する予定です。

●郵送:〒171-8422 東京都豊島区南池袋 2-45-1-6 階 豊島区公園緑地課 担当:加瀬、平井

●FAX: 03-3981-1008

●Eメール: jinyoshi@arion.ocn.ne.jp